

7/11 幡豆地区 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分の再質問・自由意見等〕

整理番号	事前提出分の再質問・自由意見等 当日お聴きした意見等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
1	幡豆地区のコミュニティバス	【提案】 コミュニティバスも有効だとは思いますが、京丹後市の支え合い交通のように、一般の方が運転者となって市民の移動の支援を行う取り組みがあります。西尾市も一般のドライバーが移動の支援を行う取り組みを検討してはどうですか。	幡豆地区の公共交通協議会では、地域の代表者の方々にご参加いただき、準備会を開催し、アンケートを実施するなど検討を進めてまいりました。その結果、バス路線に比べいこまいかーの方が手段としては適当ではないかとのご意見をいただいた所です。京丹後市の取り組みなどは、今後、研究をしてまいります。	地域つながり課
2	吉良地区の避難時の無線機の配布	【提案】 吉良高校と白浜小学校、白浜保育園が合同で避難訓練を行っています。白浜小学校には無線局が設置されているようですが、吉良高校の生徒が保育園児や小学校の低学年児と一緒に避難する事もあると思います。自助共助の観点からも、吉良高校に無線機を設置してはどうですか。	現在、白浜小学校に無線局が設置されており、トランシーバーが地域の自主防災会の方と学校の2台設置されています。今回のご提案により、今後の避難訓練の際にトランシーバーの貸し出しを行います。有益と判断されるようであれば地域で購入いただく際に補助を使用させていただきたいと思っておりますので、ご検討をお願いします。	危機管理課
3	竹林対策	【提案】 竹林の整備は非常に労力と危険を伴います。そのため、竹をパウダー状にして散歩道に敷くことで、竹林の整備もでき、歩きやすくなるなどのメリットがあるため、愛知こどもの国ではボランティアと一緒に整備を行っています。愛知こどもの国では、竹をパウダーにする大型の機械が貸し出しができるようですので、広報などでボランティアを募るなど、多くの方が参加できるようにしてはどうですか。	竹林の整備事業については、農林水産課で行っております。以前は愛知県の補助により、竹をチップ化し散策路に撒いたりというような事業を行ってきました。今後は森林環境譲与税が始まり、この財源を活用して新たな活動を検討してまいりますので、ご相談いただければと思います。	農林水産課
4	空き家の活用	【提案】 移住の相談を受けることがありますが、実際には中に荷物があつたりして、活用されていません。使わないから、住んでいないからどうぞという空き家では、移住を考える人にとって魅力的な物件ではないこともあります。 インターネットでは、すぐにでも譲りたい物件とある程度住める物件の2種類の価格設定を行い全国の空き家の物件の情報を提供するサービスがあります。ただ、実際の空き家の持ち主である高齢者の方にそれらの情報が届いていないと思います。 市が空き家バンクを行うのであれば、広報や回覧板の他に口コミにつなげていく事が大切だと思います。	空き家バンクにつきましては、愛知県の宅建サポート協会と協定を締結し、いろいろな情報の提供を行うこととしております。あくまで、情報提供の手段の一つであり、口コミなども重要な手段です。 市では2年前から空き家対策を行うにあたり、実施方針を定め、所有者が亡くなったり、移転される場合にパンフレットをお渡ししながら制度の周知に努めております。	地域つながり課
5	市政懇談会の開催	【提案】 市政懇談会を映像配信できませんか。	現在は、議事録を後で公開する形をとっております。限られた職員で対応しており、映像配信用のスタッフや資機材の問題もありますので、今後、検討してまいります。	秘書広報広聴課
6	医療アプリの活用	【提案】 スマートフォンのアプリを利用して、個人が簡単な医療相談を、医師に直接、行えるサービスがあります。このようなサービスを利用してはどうですか。全国の医師が対応するため、市民病院の医師の負担軽減につながると思われます。	市民病院の医師の負担軽減として、医療相談アプリのご提案をいただきました。慢性的な医師不足の中、市民の皆さまにはかかりつけ医を持っていただいて、できるだけ救急への件数を少なくなるようお願いをしております。	市民病院事務部 管理課
			アプリの導入については、先進事例を参考に、今後、調査研究してまいります。	健康課
7	愛知県企業庁の山	【質問】 企業庁の土地の150ヘクタールについて、保安林の解除は全部行われているのですか。	企業庁の保安林の解除につきましては、150ヘクタールのうち、26ヘクタールが点在した形で保安林のまま残っています。	企業誘致課
		【質問】 鳥羽方面から西尾の中心へ向かう道路が、友国付近で渋滞しています。新たに企業が進出すると一層の渋滞が予想されますが、何か対策を考えていますか。	駿馬瀬戸地区に新しい企業が進出を予定しており、県の事業として開発を進めております。今後、県と一緒に渋滞の緩和を考えるため、来年度から対応策を検討してまいります。	

7/11 幡豆地区 令和元年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分の再質問・自由意見等〕

整理番号	事前提出分の再質問・自由意見等 当日お聴きした意見等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
8	行政組織	【質問】 市長が就任して2年が経過しますが、現在、副市長は1名となっております。今後もこのまま、副市長を増やす考えはありませんか。	副市長の定員は2人となっておりますが、2人を置くことが目的ではありません。2人目を置く、置かないを前提とせずに、人材として良い方がいるかどうかなどの状況も含めて考えてまいります。【市長】	
9	幡豆町のPR	【質問】 稲垣教育長の地元である幡豆のPRをお願いします。	地元である幡豆というところをすごく愛しています。小さい頃は近所の川で魚を捕ったり、東幡豆のトンボロ干潟を歩いたり、うさぎ島や猿が島で魚釣りをしたりして育ちました。現在もこのような環境にあって、幡豆の3つの学校は、とても穏やかで良い小中学校できています。これからも、そういう学校であることを心から願っておりますので、皆様のご協力をお願いします。【教育長】	
		【意見】 家を建てて外構工事を行っているのですが、コンクリートではなく地元の建材が使いたいと思って、石材店に相談しました。建材に使われる石のほとんどが輸入と言われ残念に思っていたのですが、知り合いが幡豆石を使って床を仕上げた事を聞きました。 そこから紹介を受けて、幡豆の石切り場に問い合わせたらとても安く幡豆石を買う事ができ、とてもかっこよく仕上げることができました。もっと、使ったらいいのと思いました。		